

保原中央 自治振興会だより



会長 一条 恒男

新年明けましておめでとうござ
います。

新しい年の始まりと共に、皆さん
の要望による新しい取り組みが始
まります。是非その要望が反映さ
れることを期待しております。

保原地区での、初の試みが始り
ます。みなさんの要望が大事です。
要望を出し合ひましょう。

現在、少子高齢化や人口減少が
進んでいます。そして地域の過疎、
商店の閉鎖なども進み、限界集落
の出現もあります。

地域の振興は、地域の課題になっ
ていきます。みんなで力を出し合っ
て、努力することも求められま
す。

出来ることから始め、出来るこ
とを頑張ってみましょう。成人式
で未来ある新成人が誕生しまし
た。みんなでよい年にしていきま
しょう。

第 2 号

30.2.22 発行

発行責任者
会長 一条恒男

各部会からのお知らせ

総務企画部会

アンケート集計と情報発信

皆様方からいただいた貴重なア
ンケートは、委員会で集計され
まとめられました。各部はそれ
基に情報を共有し、企画する事
業に有益となるよう進めていき
ます。また情報発信に努め、よりタイム
リーに自治振興会に対する御要望
や意見を収集するためホームペ
ジの開設を進めます。

健康福祉部会

「正しい献立・みんなで作って
美味しく食べよう!!健康料理教室」
をはじめ、「健康促進や身体機能維
持を目的とした教室」、その他「健
康福祉関連事業」を平成30年度の
企画に予定しています。
皆様方のご参加をお待ちして
おります。

地域づくり部会

保原地域の歴史を訪ねて

目的 保原地域内の史跡や歴史
を知り地域理解を深める。
内容 丸山観音、長谷寺、薬師堂、
仙林寺、陣屋等の歴史を
学習をします。
日時 平成30年3月25日(日)
午後1時30分～3時
場所 保原中央交流館
3階 大会議室
対象 地域内の 大人く子ども
講師 歴史研究家 遠藤利夫氏
参加費 無料 ※申込不要

環境防災部会

防災マップの配布

防災マップを3月末まで全家庭
に配布します。万が一に備え、消
火栓や防火水槽のある場所を地図
に記載したものです。
近年、住宅密集地が増え、火災
が発生すれば大惨事になります。
そのため初期消火が重要となり、
消火栓のある付近では消化活動が
早期にできる環境整備が大切です。
被害を最小限に抑制し、住民を
安全・迅速に避難場所へと誘導す
るため、このマップは必要となり
ます。

社会教育部会

魚の料理教室

魚主体の料理を学びます。
日時 平成30年3月1日(木)
午前10時～午後2時
場所 保原中央交流館調理室
対象 保原中央自治振興会地区
住民 20名
参加費 五百円
講師 長沢魚店 杉本洋子 様
献立名 カレイの煮付け、イワシ
のつみれ汁、イカの塩辛



健康福祉部会



広報委員会

※自治振興会発足以来、各部毎に
部会を数回開催し、29年度の事業
実践(2月～3月)と30年度の事
業計画案(4月～3月)づくりを
進めています。

ほばらまちづくり計画に係るアンケート調査から **その1** その2は 次回3号

この調査は、保原小学校区の各町内会や各団体の方々を対象に平成29年11月22日現在で行われたものです。540名の方に調査依頼し回答数は273名（回収率51.5%）でした。

お忙しい中、調査にご協力いただき有難うございました。集計結果は、各町内会長様に送付いたします。また詳しく知りたい方は、原文をホームページに掲載しますのでご覧ください。

今回寄せられました多くのご意見は、平成30年度以降の事業に役立てていきたいと思っております。

1. 保原小学校区の自然環境をさらによくするために、どんな取り組みが必要ですか。

- 他地域の方が、保原小学校区に移住したいと思わせる様な環境にするため、河川、歩道の整備・緑化を進めていく。
- 古川を魅力あるきれいな川にする。
- 年一回のクリーンアップ作戦を、月一回のクリーンアップ作戦にする。
- 通学路や道路沿いの花壇にお花を植えたりする。
- 各町内会で悪い所や良い所を見直し、各町内会「おすすめスポット」を決める。
- 各町内会が通学路の清掃や除草を分担して行う。（降雪の時、除雪等も含めて）
- 休耕田等があったら、ポピーやひまわり、ムギナデシコ等、種をまいたら発芽する簡単な草花等を植える。
- 地域の方々に自然環境破壊を取り戻す意識を持って頂く、町内会毎の取り組みが必要。

2. 保原小学校区の教育・文化・伝統行事について、どんなことを望みますか。

- 3・11後に始めた、きらめき事業を続けてほしい。
- 小学生の「おはようございます」の挨拶はとても良いので、あいさつ運動を続けてほしい。
- 文化活動は、年配の方々が中心になり行っている様子がみられます。子供たちにも参加できる催しがあると良いと思います。
- 子どもが地域の名人に学ぶ機会をつくる。
- 年次計画で、各種講演会・講習会の開催を望みます。
- 地域活性化や地域交流の為に催事は必要と思います。祭事はもちろんのこと、花火大会、盆踊り等若者の集う町づくりを望みます。
- 中村は「つつこ引き」があるが、年寄りだけでなく、働き盛りの世代、男同士のつながりがあるのが良い。ずっとこの先も残していけたらと思う。地域の連携のためには必要な催事。
- 地域の行事にはなるべく参加し、近所のつながりを持てる地域づくり。

3. 保原小学校区が、農産業・雇用・施策等、将来どんな地域になればよいと思いますか。

- 住宅地や働く場所を増やし、若者や新居住者の定着を目指す地域になればよい。
- 町中の空店舗を利用して身近な店を作り、日中の人通りが多い地域。
- 農業をやりたい人が自由に貸し借りでき、作物指導をしてもらえる地域。
- 親子で自由に作物を作り、収穫を楽しめる地域。
- 定年後、自分の特技や技が活かせる場がほしい。
- 元気な高齢者が、楽しく、明るく雇用できる場をつかってほしい。
- 若い人や子供たちが楽しめる施設がある地域。
- 子育て中の主婦でも気軽に働け、時間に自由のきく商業施設がある地域。

※ アンケートから抜粋



町内会だより 二六町内会

みんなが顔見知りの町内に

二六町内会長 舟山紘二

私たちの町内会は、皇紀二千六百年・昭和十五年に晦日町町内会から分かれて、皇紀年号にちなみ、保原町二六町内会として活動を開始したと聞き及んでいます。

現在建築中の住宅を加えると、百七十戸を少し超える世帯で構成する町内会です。前任会長が、現在保原中央自治振興会会長一条恒男さんで、その業績の流れで活動しています。前会長が残した「少子高齢化社会対応型町内会」の理念を継承しつつ、現状に合わせ変化させながら活動しています。

春の日帰り旅行、夏に親子料理教室「流しそうめん」秋は百五十人規模で行う「世代交流・芋煮会」同時進行「防災訓練」で炊き出し。安否確認「福島大学行政政策学類長鈴木典夫ゼミの教授、学生との交流」地域の若連、消防団も参加します。勉強も兼ねた、秋の研修旅行もあります。新年会で初顔合わせをして、二月・三月に会計監査ほかの会議を経て、定例総会で年度を終えます。

ほぼ毎月、三役以外の役付きの方々を加え、十名ほどで定例役員

会を行います。毎月最終火曜日に、町内全域を回り町内の見回りも兼ねて、古紙回収をしています。町内会だよりを発行、現在百十五号になりました。みんなが顔見知りになれる機会を、多く持ちたいと考えて活動している町内会です。



秋の芋煮会



夏の流しソーメン

団体紹介

保原婦人会

保原婦人会会長 高野順子

地域婦人団体として震災後再設立しました保原婦人会です。

現在会員は百八十名余り、年間計画に添って活動中です。

地域の皆様と小学生の安全のため、交通安全協会の方々と朝の立哨活動、春と秋の火災予防運動期間には、地元消防団の皆様と広報活動での啓蒙を行っております。

今年度の主な活動を紹介します。

● 茂庭ダムとあじさい咲く天王寺の見学

● ももの里マラソン大会給水の手伝い

● 保原地区敬老会の開催

● 保原小学校子どもまつり手伝い

● 霊山里山がっこうでの 피자作り

● 花工房でのうどん打ち体験と会員新年会 等々です

この中でも敬老会の開催については、行政推進員の方々のご理解

保原婦人会 会員参加の状況

平成30年1月1日

町内会	戸数	会員数
八幡台	33	9
村岡	40	1
赤橋	175	0
市柳第1	182	10
市柳第2	193	23
市柳第3	117	13
市柳第4	164	5
中村第1	80	9
中村第2	118	0
中村第3	190	3
中村第4	100	7
中村第5	105	11
十日町	92	7
宮城第1	90	1
宮城第2	73	2
宮城第3	234	6
宮本	76	5
五日町	88	0
鉄元第1	90	1
鉄元第2	75	4
久保	250	1
二六	170	3
晦日町第1	126	1
晦日町第2	151	7
晦日町第3	61	3
西猫川	39	1
中猫川	19	0
東猫川	27	0
小蓋	87	3
小幡南部	117	7
泉町	298	13
西町	359	7
柏町	185	1
小幡北部	64	18
上中瀬	45	0
下中瀬	18	1
総計	4331	183



保原小学校子どもまつり

ご協力があったからこそできることであり感謝の念でいっぱいです。今年には中央自治振興会のお力添で、より一層の「おもてなし」でお迎えできると思います。今後地域のお役に立たなくてはならない存在であり、先輩の皆様が築いてくださったこの組織を絶やすことなく、地域の和、人の輪を大切に、次の世代に継いでいきたいと思っています。いつでも会員募集中です。

先進地視察

2月13日(火)、山形東置賜郡川西町の「きらりよしじま」を一条会長ほか18名で研修視察をしました。

先進地を視察することにより、我自治振興会に生かしていきたいものは何かを共有することをねらいとして実施されました。

道の両側は2mほどの雪の壁、屋根からは1mほどのツララが私たちを迎えてくれました。

高橋事務局長さんから、組織づくり、人材育成、事業展開等々の説明を研修室で受けました。

平成19年に発足、当初3年間は連携・組織作りで、既存団体や役員等の見直しを図りました。地域全世帯加入のNPO団体で、焦らない・諦めないことを合言葉とし、地道に進み4年目からようやく歩み出しました。

川西町吉島地区の様々な課題「子育て支援から高齢者ケア、自主防災から環境保護、農業6次化、教育支援」に取り組んでいます。

実働部隊として、「自治」「環境衛生」「福祉」「教育」の4部会からなり、これを束ねる事務局が約30名で組織されています。

事業展開は、特色ある事業が見られ若者が多数参加するように

り、ここまで来るのに10年の歳月がかかっているとのことでした。

その後、班毎に質問事項をまとめ、人材育成や若者の集め方や活用を中心に活発な意見交流がなされました。すばらしい実践に感心するのみでした。

深雪の地を後にした視察者一同は、振興会の今後について語り合うよい研修機会となりました。



熱心に聞き入る参加者



雪壁の前で

立志式・新たな決意

2月7日(水) 11時から、桃陵中学校体育館で行われ、保護者、町内会長、民生委員、保原地域青少年育成推進協議会等から多数参加し祝福しました。

式に参加した中学2年生は、14歳になる喜びを感じつつ、自立心や責任感を新たに決意しました。

式終了後、青少年育成市民会議と保原地域推進協議会主催による「お祝い会」に参加し、テーブルマナーを学びました。



桃陵中学校中学2年生156名

お知らせとお願い

本会の事業推進にあたり、休耕田畑を活用し有効利用をするため農地をお貸しできる方を探しています。お貸しできる方は、本会事務局あてに連絡をお願いします。

電話024・563・1131

保原の方言連載にあたり

阿部包昭

方言集めのきっかけは、昭和40年も終わりの頃です。今の体育館の処に小学校の運動場がありました。そこで十代半ばの少年の会話で曰く「おれがせでんがらやべ」(おれが連れていくから行くぞ)この一言でした。久しぶりに懐かしさを覚えたことからこの方言を集めてみたいと思いつきました。

集めてみると聞いたこともない言葉を協力してくれる方もあり、まとめるのに大変と思ひ、私が使った覚えた言葉に限定しました。

途中で何回も集めることをやめようと思いましたが、これも自分との闘いと思ひ、約25年程で締切り、製本することにしました。

小冊子が完成し小生の生きた証として友人や多くの方々に思い出してもらえたら幸いです。

※あしたさげ(明日の朝)等々、次号から掲載していきます。

あしがき

広報第二号から①町内会だより②団体紹介③保原の方言コーナーを設け、順次紹介していきますのでお楽しみにしてください。原稿をお寄せいただきありがとうございます。